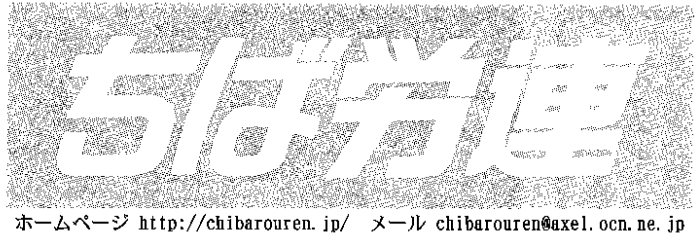


春闘・知事選勝利  
決起集会

日時：2月18日(土)10:00～  
場所：千葉市民会館特別会議室2



ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール [chibarouren@axel.ocn.ne.jp](mailto:chibarouren@axel.ocn.ne.jp)

第 302 号 URL 版 2017 年 1 月 31 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

# いのち脅かす安保法は今すぐ廃止 立憲主義・民主主義を取り戻そう

## 私たちが動いて政治を変えよう

### 県民集会に 2000 人の参加

『安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどす 千葉県民集会』が1月21日、千葉市中央公園にて、安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会の主催で開かれました。集会には、全県から千葉労連をはじめ、安保法廃止を求める弁護士の会・千葉、再び戦争をさせない千葉県1000人委員会、憲法を守り・いかす千葉県共同センターなどさまざまな団体から、2000人が結集しました。



千葉中央公園に一点共同の大集結

集会は、『弁護士の会』の渥美雅子共同代表のあいさつで始まりました。「アメリカでは、トランプ大統領の就任で『寒い状況になっている』、戦後70年日本は戦争で一人も殺さず殺されずに来た。しかし安全保障関連法に基づき『駆けつけ警護』の任務を付された自衛隊の部隊が南スーダンに派遣され、戦争に巻き込まれる危険性が高まっている。さらに国会では、『共謀罪』を法案とし、これが成立するならば憲法が紙切れにされかねない、なんとしても廃案にしなければならぬ」と訴えました。政党からは、社民党福島瑞穂参議院議員、日本共産党斉藤和子衆議院議員、民進党小西洋之参議院議員、新社会党千

葉県本部石井俊雄副委員長が、連帯のあいさつを行いました。

### 駆けつけ警護はまやかし

元自衛隊レンジャー部隊員の井筒高雄さんが特別報告で「今南スーダンで行われる『駆けつけ警護』は軍事的には、『応戦・参戦』以外のなにものでもない。自衛隊員のリスクは高まり、国連安保理の決議以降攻撃はいつでも可能、PKO参加5原則で20年前から戦争参加への地ならしは出来ている。昨年7

月から戦闘が始まっているのが実態だ。世界に対して武力ではない、日本らしい貢献、日本国憲法 9 条を守っていくこと。すなわち私たちが動いて、政治を変え、安保関連法を廃止にするしかない」と訴えました。

#### 市民と野党の共闘で

木更津オスプレイ整備拠点化問題について、野中晃さんが「11・13 集会のお礼と市民の力と野党の共闘で、『オスプレイはいらない』を実現させよう」と訴えました。また、沖縄高江ヘリパッド建設問題について、山口千春さんが「沖縄の自然を守るためにたたかっている。千葉から警察が沖縄に派遣されている。住民監査請求を 911 人で進めている。皆さんも是非参加して欲しい」と訴えました。

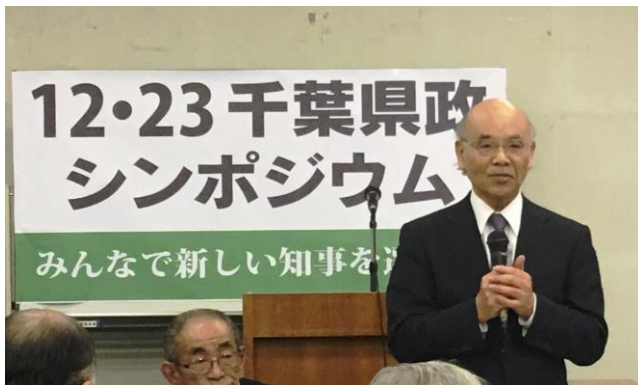
集会後、参加者全員で集会アピールを採択し、市内パレードを整然と行いました。



千葉市内をアピールウォーク

## 新知事誕生で県政を変えよう

### 千葉県政シンポジウム



あいさつする三輪定宜千葉大学名誉教授

昨年 11 月 11 日に発足した市民団体『みんなで新しい知事を選ぶ会』は、12 月 23 日千葉県教育会館にて千葉県政シンポジウムを開催し、県内から 122 名が参加しました。

『安保法制に反対するママの会@ちば』代表による司会でスタートしたシンポジウムは、共同代表の三輪定宜千葉大学名誉教授が「3 月の知事選は県政をクリーニングする絶好のチャンス」「全国的な野党共闘の広がりが千葉でも画期的なとりくみとして進んでいる」「政策はいのちであり率直な意見を聞かせていただきたい」と開会あいさつ。つづいて、農業・医療・教育・建設の分野から、実態報告を受けました。

#### 森田県政の問題点

農業では、千葉県は全国平均 39% よりも 11% も低い食料自給率。米価が 45 年前の価格であり、離農・耕作放棄地の増加や未婚率も高まっている。医療では、無料低額診療の実施を理由に、生活保護申請をさせない動きが強まっている。教育では、全国ワースト 2 位の教育予算が影響し、空調設備の整わない夏場の過酷な環境や、奨学金ローンの返済で苦しむ若者の実態を報告。建設では、設計労務単価は引き上げられたのに、賃金は全産業平均よりも 1 割低いまま、オリンピック特需など実感できない。4 つ分野の報告から、「財政力指数は全国 4 位なのに福祉・教育・医療など軒並み最下位クラス」「八ッ場ダムや幕張メッセ・かずさアカデミアパークなど大型開発優先」という森田県政を転換しなければならないことが浮き彫りになりました。

#### 選ぶ会の基本政策

長平弘政策委員長が基本政策案を発表しました。その中で「県民のいのちと暮らし高齢者を大切に！災害から県民を守り、社会保障の充実で貧困と格差をなくし安心して暮らせる千葉県に」「子育て安心、若者に夢と希望を！待機児解消、こども医療・教育環境改善、ブラック企業根絶」「中小企業や農林漁業

に光を 地元の仕事確保、商店街支援、価格保障」「全国 4 位の『財政力』をあなたの暮らしのために 税金の使い方、集めかたの転換で県民の暮らしを応援」の 4 つの柱を強調。フロア発言での補強を求めました。

参加者からは、高すぎる国保料の引き下げ、給付制奨学金制度の確立、最低賃金 1000 円以上、木更津自衛隊基地のオスプレイ整備拠点化撤回、教員未配置問題などの発言と、文書発言を受け、会として政策のさらなる補強と候補者の選出を引き続き追求していくことを表明し、シンポジウムを閉会しました。

政党からは、日本共産党・新社会党・緑の党・無所属の各代表があいさつをしました。

## 波濤

ある学習塾の中学入試問題を載せている電車の車内広告が、頭の体操にもなり私のお気に入りだ▼1月は、2015年長崎平和宣言が抜粋され「平和のために、私にできること」とあるが、あなた自身はどのような取り組みができると思いますかというもの。自分のこととして平和について考え、自分の言葉で語る子どもたちがもっと増えればいい▼昨年末、安倍首相が真珠湾訪問の演説の中で「戦後、ひたすら不戦の誓いを貫いてまいり」「この不動の方針をこれからも貫いてまいります」と固い決意を表明していた▼これまでの政策、言動を見るかぎり残念ながら自分の言葉で語ったとは思えない。今年も熱いたたかいの始まりだ。



千葉の空を飛ぶな

え・西山 進

【2面】

## 際限のない年金削減

力を合わせてストップさせよう

## 年金者組合年金裁判闘争

千葉県で115人が提訴

「2013年の年金1%引き下げは憲法違反、差額を返せ」として、国を相手に42都道府県で4637人の原告が39の地裁へ提訴し、現在、36地裁で裁判が始まっています。

千葉県でも115人の年金者組合員が原告団を構成し、2016年6月に千葉地裁へ提訴。12月6日に2回目、3月3日には3回目の口頭弁論が予定されています。

裁判闘争の目的は、下げ続けられた年金をさらに30年も引き下げようとする政府の動きにストップをかけること。裁判だけでなく、全国で200万枚



千葉地裁に向かう原告団

のチラシ配布行動や『若い人も高齢者も安心できる年金を求める』請願署名を 70 万筆集めるなど、世論喚起を促す運動にも力を注いでいます。

### 年金削減は若者や地域経済にも影響

2004 年、小泉政権時に制定された年金改革法により、保険料は毎年上がり続け、若者や現役世代に負担が重くのしかかっています。非正規雇用やワーキングプアが増大する中で、厚生年金に加入できない非正規労働者が増え、国民年金納付率も 20～30 代で半数を割るなど、将来、無年金者や低年金者が続出することが心配されます。

また、高齢者は低年金に加え、消費税増税や医療・介護保険料の値上げで厳しい暮らしを強いられています。年金はほぼ 100%が消費にまわりますから、年金が削減されれば高齢者の暮らしが大変になるばかりか、地域経済や地方財政にも深刻な影響を及ぼします。

安倍自公政権は、さらに物価の変動に連動させずに年金を減額する『年金カット法案』を強行採決しました。国民の過半数が反対の声を上げる中での暴挙です。絶対に許すことはできません。

年金問題を高齢者だけの問題にせず、全国民の運動として捉え、組合・組織を超えて学習し、ともに運動を強めていきましょう。

## 安心できる年金を子どもたちへ ～原告団の訴え～

年金者組合の役員として、仲間の期待に応えるために原告になることを決意しました。

若い頃は、4 人の子育てと仕事の両立に悩みながらも、厚生年金の受給権獲得 (20 年) を目標に働いてきました。しかし、いざ受給時期になると、月 10 万円にも満たない金額にとっても落胆したのをいまも覚えています。今ですら生活保護以下の金額なのに、これ以上削減されては、とても生活できません。

私たちの生活問題だけでなく孫子の世代へ『みんなが安心できる年金制度』を引き継いでいくために、年金改悪の流れを止めるため頑張ります。



年金裁判原告  
年金者組合若葉区支部書記長  
市川和子さん

## 17 春闘方針を決定

### 第 65 回評議員会

千葉労連は第 65 回評議員会を 1 月 7 日に自治体福祉センターで開催し、54 名が参加しました。

本原議長あいさつと山崎事務局長の方針提案の中で、今年は千葉県知事選挙があり、また衆議院解散総選挙が予想される年でもあり、安倍政権の打倒、大幅賃上げなど春闘勝利で、新たな飛躍の年にしたいという思いが語られました。

討論では自治労連、全教、年金者組合、JMITU、全印総連、県国公、市川浦安、君津木更津、東葛、香取佐原、女性部の評議員がそれぞれ補強発言をしました。

方針案は、補強発言を踏まえ、中間決算とともに満場一致で可決されました。

評議員会後に開催された旗開きは、来賓も含め 108 名が参加しました。斎藤実副議長の乾杯で開会し、林三喜男副議長の閉会あいさつで春闘勝利、立憲主義を取り戻す 1 年にしよう確認しあいました。

## 労働相談一ヶ月～1月4日の相談～

新しい年を迎えて最初の労働相談は、職場の深刻な現実が越年していることがわかるものなので

紹介します。1 件目は宅配業者に勤める夫の相談です。連日朝 7 時に出て帰りは翌日になり、休みの日も仕事が入って出かけていく。人員不足なうえに残業はすると言われていく。労働時間は隠蔽され、過労死するのではと心配というものです。

2 件目は、保育園の認可開園にかかわった保育士からのものです。保育を理解していない経営者が、保育園を作り、0 歳から 5 歳までをワンフロアで保育し、0 歳児について個別配慮が全くなく 1 日中泣いている状態を改善したり、認可を取るための手続きを行いました。監査があり、就業規則を作ることになったが、働いている実態と全く違ったことが書いてあるものを渡され、指摘すると、提出しなきゃならないから作っただけで気にすると言われていく。働き続けるのは無理と思い、退職届を出しましたが、「やめたらこの業界では働けないよ」と言われたというものです。

3 件目は、大手宅配業者の看板で宅配業務を行っている 20 代前半の労働者の相談です。車をリースで借りた形の『業務委託契約』で働いている労働者が、辞めたいと申し出たところ、辞めさせてもらえず、休んだところ高額は無断欠車違反金の支払いを求められて困っているという相談です。労働の実態は、労働者と変わらぬ働き方になっていますが、「委託」という形で自営業者を装っている問題です。

運輸・物流関係の職場の長時間労働と偽装請負の疑いあるいは保育施設の経営者の資質の問題など新年初日から深刻な労働実態を反映した相談が続きました。 【中林】